

【問題提起】第7分科会

施設介護・在宅介護

運営委員 永田 剛敏 (愛知なごや福祉施設協会労組)
竹原 真由美 (岡山医療生協労組)
田村 優実 (北海道勤医労)
今澤 増男 (石川民医労)
米沢 哲 (日本医労連本部)
寺田 雄 (日本医労連本部)

【問合せ先】

日本医療労働組合連合会
TEL (03) 3875-5871
運営委員 寺田 雄

助言者 森山 千賀子 (白梅学園大学 教授)

今回は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて、施設介護・在宅介護の合同分科会を開催いたします。また、オンライン開催となるため演題公募を行わず、指定報告や学習講演を準備しております。

私たち介護従事者は、利用者がその人らしく生活できるよう、現場実践の積み重ねや根拠に基づく支援を通じて、その専門性と普遍性に確信を持っています。

2021年度の介護報酬改定では、国が定める職員の配置基準など労働環境は改善されるどころか、ICTやロボットの導入で効率化を図ることにより人手不足を解消しようとしています。報酬改定で強調されている「生産性の向上」は、介護そのものを規格化・一律化するもので、その人らしさを追求する本来の介護が遠のくことが危惧されます。

指定報告や学習講演など、質疑応答ができるよう進行に配慮し、コロナ禍の下での全国交流の新たな形を皆さんと一緒に作りたいと考えています。新型コロナウイルス対策、報酬改定により毎日があっという間に過ぎていく中、立ち止まって考える機会にしましょう。職場を、そして介護の未来を良くしていくために学び合いましょう。

【スケジュール・内容予定】

- ・13:30~16:30 Zoomを活用したオンライン開催
- ・学習講演／指定報告①「特養あずみの里」業務上過失致死事件裁判 ②2020年「介護施設夜勤実態調査結果」③施設・報告 ④在宅・報告